

# 23年度 パドラーズトピックスー24

## 11月3日・2回目の支援物資の配布活動

11月3日に陸前高田第一中学校の仮設住宅と南郷地区に冬物を中心に2回目の支援物資の配布に21名のボランティアで行って来ました。



9月9日にアンケートを元に要望があった6000点の物資を配布しましたが、布団や毛布がどうしても足りなく、今回皆さんの協力で布団のほかに、冬物衣料、こたつや電気ストーブ、生活用品などが3トントラックいっぱいになるほど集まり、配布することが出来ました。

集められた布団などは一枚一枚広げ、傷んだものはよせ、人様にお渡しできるものに分け、日焼けなどがありこれはちょっとと思うのでも使えそうなものは、そのところにガムテープを張り「わけあり」と表示し、それでもよければお使いくださいとして、運びました。



朝6:00に出発し10:00頃に陸前高田の仮設住宅に到着しました。150人ほど集まってくださいました。前回お渡しできなかった物資を一人一人に電話をかけて事前にまとめておいたのでスムーズに混乱も無くお渡しが出来ました。

その他に用意した物資も皆さんにわたる様に集会場に10人ずつ5分ごとに入れ替えるようにして行いました。前回同様に今回も持っていった全てが1時間ほどで子供服の一部を除いてなくなりました。また、仮設の方々から、「パドラーズさんはどうしてココまでやるのですか？」と質問を受け、参加したメンバーはどう答えたらいいのか戸惑ってうまく言えなかったそうです。中には、このような支援物資をバーゲンのごとくあさる姿は本当に皆さんには見せたく無いと話す年配の男性の方がいましたが、「これが現実です。」といった言葉が心に残りました。

また南郷地区では400人以上の方が集まり、混雑を避けるために入場制限して配布させていただきました。



説明をする伊東自治会長さん



午前10時開始前から多くの方が並んでくださいました。陸前高田の仮設住宅のと同じように出来るだけ多くの方にいきわたるように南郷でも制限して行いました。



食器を一枚一枚取り出して並べる  
武田さんと畠山さんです。



布団や毛布、冬物の衣料など4000点以上の物資が並べられました。



前回の配布では書籍など含め8000点の物資が1時間あまりでなくなり、とっくりとおちょこが残ったので、今回秋田のお酒ワンカップを付けて配ったところ、すべて持って行ってくれました。ジョッキにも缶ビールを付けて配りました。

みなさんから粋な遊び心がうれしいと好評でした。中には2本くれやと言って、今晚ばあさんと二人でワンカップで乾杯するからと言って持っていくおじいさんがいました。「久しぶりの乾杯や、秋田の酒で飲むのもばあさんも喜ぶから」と最後に「秋田のこと忘れないから」と帰っていきました。

物資調達には多くの皆さんの支援に助けられ、また秋田のボランティアの方々や南郷ベースの武田さんを中心にしたメンバー、気仙沼ゲットバックの渡辺さんなどの協力のもとこの活動を行って来て思うことは、自分たち一人ひとりの力は小さいですが、思いを一つに困ったときはお互い様の気持ちがこのような形あるものに自然にできることは「人って満更でもないぜ」と思います。

後日、感謝の電話や手紙が数多く寄せられてきました。その中で陸前高田市の大久保さんからは「全ての財産を失い無一文となった私共を支える為に仮設住宅の各戸を廻り、必要品の希望を取り全ての希望に沿うように品揃えして、お届け戴いた事に一様に感謝の気持ちを同じくして居ります。品揃えにさぞさぞ大変の事だったと存じます。個別に御届け戴いた品が仮に希望通りの品でなくても皆様の暖かいお気持ちを思うとき「立派な新品」にも優るものとありがたく使わせていただきたいものです。また直接相手の見えないもの達への支援の為に多分のご苦勞をされている皆様の真似は出来ぬものと感謝の念でいっぱいです。改めて御礼を申し上げ皆々様に宜しくお伝えください。」と深浦会員に礼状が届きましたのでお伝えいたします。



伊東自治会長さんが豚のお面を付けて会場内を回る姿が明るい気仙沼の未来を物語っているようです。

まだまだ様々な支援が必要なことが実感として感じますが、支援の仕方についても考えさせられました。また12月18日は「秋田からサンタがやってくる」のタイトルで南郷でのクリスマスを予定しています。今プレゼントを集めています。大人の方には秋田のお酒でもとったりしています。